

第87回番組審議委員会議事録

日時：令和2年10月14日（水）13時30分～

場所：富士市民活動センター/コミュニティエフ（富士市吉原2丁目10番20号）

1. 委員総数 10名
2. 出席委員数 7名
3. 出席委員の氏名
遠藤芳幸委員長
和久田恵子 副委員・土井一浩 副委員
稲葉美津江 福委員・青木洋一 委員
土橋矢兼 委員・内藤佑樹 委員（順不動）
4. 放送事業者出席者名
小沢教司 常務取締役・山本茂 統括部長 2名

遠藤番組審議委員長：ごあいさつ

こんにちは。先月は体調不良の為、急遽欠席とさせていただきました。大変ご迷惑をおかけしました。無事復帰いたしましたのでご報告させていただきます。今日は、土橋委員、内藤委員とお会いするのが初めてですが番組審議の程、よろしく願い致します。

小沢常務取締役：ごあいさつ

皆様、いつもお忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

前回9月16日の番組審議委員会への招待状を皆さんに郵送させていただきましたが、会場を1枠しかおさえる事ができず、コロナ感染防止から総勢6名という人数制限があった為、何名かの委員に出席のお断りをさせていただきました。大変失礼な事をして申し訳ありませんでした。改めてお詫び申し上げます。

4月に第15期の決算が出ました。おかげ様で前期も黒字となり、11期連続で利益が出ました。私が知る限り静岡県のコミュニティエフエム放送ではラジオエフだけです。

第4期終了時点で抱えていた大幅な累積赤字は11年目にして、ようやく解消する事ができました。財務内容もかなり充実しています。これもひとえにして皆様のおかげです。感謝申し上げます。ありがとうございます。前回から土橋さんが初参加していますが皆さん同様、よろしく願います。内藤さんとも今日初めての方もいらっしゃると思いますが吉原商店街でもご活躍されています。また、吉原商店街のアーケード放送も最近始めてくださっていますが、吉原商店街に活気を与える意味で良いというメールも頂いています。11月3日、文化の日がラジオエフの開局記念日で開局15周年を迎えます。

11月14日に富士グランドホテルで開局15周年祝賀会を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、残念ながらキャンセルさせていただきました。

来年、また機会があれば開催したいと考えており、小串社長、役員とも協議しています。開催の際には皆様にもご招待状を郵送させていただきますので是非よろしくお願い致します。皆様の目の前にラジオエフの番組表がございますが、裏面がアンケートになっています。ラジオエフでは、環境省のクールチョイスキャンペーンに参加しており、本日このアンケートをご記入・提出頂けると幸いです。当分の間、コロナ対策の為、開催時間を若干短縮して行いたいと思いますのでご協力願います。それでは、今日も忌憚のないご意見をよろしくお願ひいたします。今日はこの後、予定がある為、挨拶のあと退席させていただきます。

前回の報告

山本：前回、第86回番組審議委員会で審議したFun Fun Saturdayのご報告です。コロナ対策の為、限られた人数の中で、8か月ぶりとうん々の番組審議開催でした。土曜日の地元のお出かけ情報番組の中から、富士川のお店をレポートするコーナーをご審議いただきました。ラジオ番組としては基本的な番組でしたが、皆さんから頂いたご意見がとても参考になりました。すべての番組において情報を伝える内容・方法・レポートの構成の仕方は非常に重要だという事を再認識しました。詳細は今後、ラジオエフWebサイトに掲載しますので、ご参照ください。

番組審議

- ・テーマ Green & Brown
- ・放送日時 2020年10月2日（金）
（毎週金曜日 11：40～15：30 OA 生放送）
- ・出演 ラジオエフナビゲーター：千野真紀
- ・番組編成制作方針、説明
- ・質疑応答

山本：今回の審議番組は毎週金曜日の午前11時40分から午後3時半まで放送している**Green & Brown**という番組です。出演はラジオエフナビゲーターの千野真紀さんです。この番組の企画コンセプトは、緑と土、自然をより身近に楽しもうという事で番組趣旨としては、お花や緑といった植物や自然の話題を中心に、暮らしに彩りを添える音楽と情報をお届けしています。自然により親しんで頂こうというヒントを提供している番組です。今日お聴きいただくのは「自然図鑑」という20分程の番組内コーナーで内容としては、四季折々の自然の風景や風物詩についての話題や今時期楽しめる自然をご案内するコーナーです。この番組内では割とメインとなるコーナーです。今日お聴きいただくのは先日10月2日にほうそうされた音源です。是非お聴きください。

約 10 分後

山本：以上になります。遠藤委員長ご審議の程、よろしくお願い致します。

遠藤：今聴いた中で番組全体の感想があればお聞かせください。

青木さんいかがでしょうか。

青木：とても季節感が感じられ良い。今はテレビやインターネットの世の中だが、音だけでも十分風景が思い浮かぶ素晴らしい番組。一輪のコスモスだけでなくコスモスの綺麗な場所、例えば富士市の雁堤などをご紹介すると、見に行ってみようとなるかもしれない。ちょびヒゲさんの話が上手だった。

山本：お客さん、学校の課外授業等で子供たちと話したりというところで話しているのではないのでしょうか。

青木：第 2 週・3 週目のコメンテーターのお話も気になります。掛け合いがあれば話しやすいと思いますが。

山本：ご出演いただいている方は皆さんお話上手です。

遠藤：青木さんあたりは写真家というご商売がら、花の名所などよくご存じでは？

青木：ブライダル関係のサクラの場所なら、富士宮の浅間大社などが良いです。

紅葉は田貫湖あたりまで行くと美しいです。

和久田：お話だけを聴くのも良いが、インスタなど SNS とリンク・コラボして、ここを見てくださると見える部分に誘導すると分かりやすく、リスナーとしてうれしい。

遠藤：稲葉さんはいかがでしょう。

稲葉：すごく話が上手でした。私も以前、何回か田貫湖ふれあい自然塾へ行って小野ヒロシさんのお話を聞いた事がありますが、とても上手で聞き入ります。このコーナーは毎月テーマが変わって行くのですか？

山本：そうです。月 1 回のコメンテーターという形で第 1 週目は田貫湖ふれあい自然塾さんに色々とお話し頂いています。

稲葉：とても楽しみで待ち遠しい。秋の味覚、栗はわかりますが、アケビやムカゴなどの写真がインスタにあるとリスナーに分かりやすい。

土井：青木さんがおっしゃった通り、コスモスの説明を詳細にして頂きましたが、地域のラジオ局であるなら今、ここでこれぐらい咲いていますよという情報があるとすぐ動けて良い。他のコメンテーターさんのお話も気になり興味深い。特に第 5 週、富士山ネイチャーツアーズの岩崎仁さんは私共、富士宮観光協会でも、今年はコロナの影響で富士登山ができないという事で 2 合目からの下山ツアーに取組まれていらっしゃいます。富士登山は通常 5 合目から上ですが、富士山の面白さは 5 合目から下にあるという事で一生懸命取組まれています。こういう人の話を聴く事で普段知る事のない富士山の新たな発見があると思います。番組企画自体は、出演者の選定からかなり考えられている印象を受けました。

遠藤：今の話とは少し違いますが、第1週から第5週までありますが、自然のテーマを見ると、富士市よりも富士宮市の方が多印象。富士市はありますか？

山本：今の所、4週目の富士自然観察の会さんだけが富士地区です。

言われてみれば富士宮ばかりですね。

遠藤：わかりました。

和久田：富士市新環境クリーンセンターに新たにビオトープができました。

富士ニュースにも出ていましたが、このビオトープをドローンで空撮・観察する取組みを望月庭園さんがされています。この辺のお話を富士市に組込むと面白い。

山本：ありがとうございます。

遠藤：土橋さんはいかがでしょう。

土橋：富士ニュースさんからの情報は、ラジオエフの方でピックアップするかどうか決められるのでしょうか。

山本：はいそうです。事前に許可を頂いて、実際の紙面から出演者を含めたスタッフがセレクトしてアレンジした物を放送していると思います。

土橋：富士ニュースさんの地元の情報も面白い。週替わりで情報を伝えるコメンテーターさんは長い期間担当されているのでしょうか。

山本：詳しくは把握していませんが、ほとんどの方が長く担当されていると思います。

多少の入れ替わりはあったと思いますが、番組自体は約5年続いています。

土橋：例えば、今回ご出演されている田貫湖ふれあい自然塾などでイベントがある場合、その告知などは番組内でされていますか？

山本：はい、していると思います。

土橋：せっかく情報をお伝え頂くのであれば、スタジオに来て見て触って、実際に味わう体験も良い事。ナビゲーターの千野さんの率直な感想なども欲しい。

山本：この番組のまた別の時間帯でイベント情報などの紹介コーナーを設けています。

コロナの関連で、中止になっているイベントも多いと思います。

遠藤：内藤さんいかがでしょう。

内藤：全体的に良い番組。ラジオにはタイプがある。一生懸命聴きたいと思うラジオと、何かしながら聴くラジオでは人によって感じ方も違う。私は、お花やアウトドアを積極的に楽しむタイプではないので、ドライブしながら聴くに良い番組。自然の事がスッと入って丁度良い。皆さんおっしゃる通り、田貫湖ふれあい自然塾の小野さんの話が上手いというのが一番印象的。どういう人なのか思わず調べたほど。仕事で話なれていることもあると思います。花や緑以外で、自然という括りでは富士市の川や海も取り入れても良いかもしれない。富士市今泉を流れる田宿川の美しさは有名。海を入れる事で釣り番組 魚王とかぶる部分もあるのかもしれない。街中の自然を紹介するのは難しいのかもしれない。シラスなどが出てくると、自然というより商売が前に出てしまう部分もある。

遠藤：過去には海をご紹介した事もあるのでしょうか？

山本：海は私の記憶ではありません。

遠藤：やはり、自然と言えば花と植物という事なののでしょうか

山本：自然にまつわる施設などは、やはり富士宮が多いという所ではないのでしょうか。

内藤：以前、田子の浦港に社会科見学に行った事がありますが、それだと自然ではない。

山本：そうですね。ちょっと視点を変えてお花屋さんなどは有りだと思います。

遠藤：和久田さんいかがでしょうか。

和久田：全体的に冒頭を 3 つに分けてご紹介しているのは分かりやすく明解で良い。お話されている方の内容も分かりやすい。BGM もお話の邪魔にならず、聴き心地良い番組に仕上がっている。色んな図鑑という単語で括っているので今後、色んな所へ紐づける事で広げやすい要素はあるが、広げ過ぎてもテーマが見えづらくなる。これぐらいがちょうど良い。コロナ禍で外出できない方もいるのでそういう方がラジオを聴いて今、こういう季節だったねと感じられて安らげる番組に感じ、自分は特に控えているので心に沁みました。コロナで制限されても日本の四季は回っていると思いながら聴けた良い印象の番組でした。虫の声の音色を入れたり、食べた物の感想など、リアルな物を入れつつ編集していただくと、もっと良くなると思います。

土橋：ラジオだからこそできる、音で伝える事があると思う。果物をガリっとかじる音が心地良いかどうかは別として、野菜をパキッと折る新鮮な音などもラジオならではの面白い使い方。

和久田：咀嚼音は人気みたいですね。

遠藤：和久田さんがおっしゃった、コロナ禍での安らぎ、また、癒し。この辺をこの番組に結び付けるのも良いのではないのでしょうか。

和久田：勉強にも癒しにもなる番組。

土橋：波の音なども良い。

土井：この番組の放送時間帯のリスナーの年齢層はどれくらいでしょうか。

山本：なかなか調査が難しい所ですが、主婦層の買い物時間帯やお子様のお迎えまた、コミュニティラジオというメディアの立場からすると比較的年齢層の高い方が聴いているのではないのでしょうか。

土井：こういう番組だと年齢層の高い方が聴いているのでしょうかね。音楽もダイアナ・ロスやスプリームスなど、私より年齢層の少し高い世代で流行した選曲で、音楽でも安らぎやノスタルジー、郷愁を覚える。こういう点でもうまい番組構成。

遠藤：結構、お褒めの言葉が多い。

山本：ありがとうございます。

遠藤：青木さんいかがでしょうか。

青木：日頃、なかなか自然に目を向けていないので勉強になります。

稲葉：富士より富士宮の方が話題が多いという事は、富士宮の自然が多いという事。
未開拓な場所も多い。これを上手く利用して、リスナーに行ってみたいと思わせる事が出来れば良い。田貫湖湿原という場所がありますが、このあたりも今時期ご紹介すれば癒しにもつながり良いのではないのでしょうか。地元の人に是非、もっと知ってもらいたい。私は街おこしを通し、初めて地元の良さを発見しました。番組を通して人が動くきっかけとなればよい。

遠藤：四季折々の自然風景や風物詩と番組資料に書いてありますが、牧野酒造周辺の田園風景なども非常に良い。

稲葉：まだ皆さんの知らない地元の良い所をご紹介できると良い。こういう役目もあるのでは？

土橋：各週に御出演いただく、コメンテーターさんの横のつながりはありますか？
植物の話題が多いので、放送内容のネタがかぶらないかどうか気になります。

山本：番組担当がどの様に処理しているか把握していませんが、番組ディレクターが事前取材して、お話がかぶらない様に調整していると思います。内容がかぶる場合もあると思います。

土橋：お話される側の立場からすると話題が一緒は少しかわいそう。

遠藤：コメンテーター同士、個人間のつながりも若干ありそうですね。

土井：第 5 週の富士山ネイチャーツアーズ：岩崎仁さんは元々、田貫湖ふれあい自然塾にいた方です。今は独立されています。

遠藤：こういう方々を一同に集めて、特集や座談会をしても面白いかもしれません。

山本：確かにそうですね。特番を放送しても面白い。昨今のアウトドアブームにより、富士宮では街おこしみたいな所もあると思います。個人的にも興味がありますが、各分野のスペシャリストを集めて、富士・富士宮の自然を語り合うのも興味深い。これをどう見せていくかが大事です。

土橋：それぞれ皆さんのおすすめマル秘スポットをご紹介して頂ければ是非、聴きたい。

山本：地元でも、この地域の自然が好きで色々とお出歩く方もいらっしゃいますが、富士宮の北部地区は東京に限らず、日本全国から本当にたくさんの方がいらっしゃいます。地元の人より外の人の方が詳しいという逆転現象も現実にある様です。外の方が地元の人にこのエリアの良い部分をご紹介しても面白い。

遠藤：この番組を通し、良いリード役になれば良い。
他にご意見があればどうぞ。
内藤さん、最近、吉原商店街でラジオエフのアーケード放送があるそうですね。

内藤：ここ 1 か月位前から放送している様です。
元々、商店街で放送した方が良いという意見はありました。放送機材の関係で実現しなかった。予算がとれた事から放送されていると思います。

山本：私どももある日突然放送がはじまり、驚きと共にありがたく思います。

遠藤：とても良い事だと思います。

山本：以前から、何度か放送のお願いをした事があります。

遠藤：富士宮商店街にも是非、ご提案してはいかがでしょうか？

土井：そうですね。

稲葉：お祭りで使っていますので機材がそろえば、すぐにでも放送できると思います。

内藤：お店やスピーカーの位置によってはうるさいなど、色々ご意見のある方もいらっしゃると思います。吉原商店街では色々喧嘩にならない様、うまく調整して努力されています。

稲葉：うるさいと思われる方もいらっしゃるのですね。

遠藤：みんながみんな良いという意見ではない。

土井：富士宮商店街は空き店舗になっていて、住まいとして使われるだけの事も多い。

遠藤：吉原商店街も多いですね。

さて、今日は時間的にこの辺でいかがでしょうか。

最後に

山本：貴重なご意見、ありがとうございました。

その他、番組以外で何かあればどうぞ。

毎年、年末に行われる今年の富士山女子駅伝は開催が決定しました。

沿道での応援を集めない方向での開催を予定している様です。

ラジオエフとしてはテレビ番組との兼ね合いで実況番組はできませんが、

富士山女子駅伝応援特別番組という形で放送できる様、放送内容を検討中です。

青木：富士わんぱく相撲クラブ出身で藤島部屋へ入門した鈴木優斗さんが十両に昇進しそうです。富士青年会議所で今後、後援会を作るのにどうしたら良いか話し合っています。

山本：相撲協会はハードルが高く通常取材が難しい。後援会のお力添えがあると助かります。その際は是非、ご協力の程よろしくお願いします。

今日も貴重なご意見を、ありがとうございました。

次回の番組審議委員会は、来月 11 月 18 日（水）13：30 からです。

是非、よろしく願いいたします。

本日は、どうもありがとうございました。